【レッツチャレンジＮＩＥ中学生】記事を読んで考えるワークシート

記事を読んで下の問いに答えましょう。

2022年８月12日

金口木舌

道じゅねーで地域に響く太鼓の音もいいが、旧盆や旧暦８月の十五夜に同じく県内各地で行われてきたのが獅子舞。無病息災や五穀豊穣（ほうじょう）を願って舞う「神獅子」は地域で大切に保存されてきた▼30年もの歳月をかけて島々を回り、神獅子を撮影し続けてきた宜野湾市の呉屋善昭さん(65)が、集大成となる写真集を発刊した。県内158地域・198体全ての神獅子を再現したミニチュアも製作した▼神獅子は限られた機会にお披露目される。「よそ者がしゃしゃり出て見られるものではない」と語る呉屋さんは、地域や保存会と信頼関係を築き、撮影の協力を得てきた▼だがコロナ禍で多くの獅子舞も中止が続く。無病息災などを祈る獅子舞が感染症で封じられる皮肉な状況に、何かできないかと考え、ミニチュアの製作と写真集の発刊を思い付いた▼感染拡大で今年もエイサーの道じゅねーを直前で取りやめた地域もある。断腸の思いだろう。だがこんな時期でも文化継承のために何かできるかもしれない。呉屋さんの地道な取り組みに学ばせてもらった。

琉球新報２０２２年８月１２日付１面

【1】「道じゅねー」の語源はどのような言葉か調べてみましょう。

「じゅねー」は「巡回」「巡る」。「道を巡る」が語源とされています。

【2】旧盆に関する以下の言葉はどのようなものを指すか、家族の方にも聞いてみましょう。

・ウチカビ（あの世のお金）　・グーサンウージ（サトウキビの杖）

・ガンシナ（台座）

【3】暑さ全開な８月ですが、暦の上での季節は何だと思いますか。

秋

【4】旧暦の十五夜に行われてきた獅子舞ですが、何を願うために舞うとありますか。文中から四字熟語を二つ見つけてみましょう。

（無病息災）（五穀豊穣）

【5】文化継承のために呉屋さんが考えたアイデアはどのようなものでしたか。また、どのような効果があると思いますか。

獅子舞の写真集発刊と、ミニチュアの制作。

ヒント：何のために、呉屋さんがこのようなことをしたいと思ったかを考えてみましょう。また、自分ならどういうことができるか考えてみるのもよいでしょう。

発展問題・旧盆は沖縄独自の文化として受け継がれています。今回は旧盆をテーマに「盆の月」という季語を使って、五・七・五の俳句を創作してみましょう。俳句ができたら ryu-pon@ryukyushimpo.co.jp まで送ってみてね！

ヒント：俳句のもとになる言葉は五音・七音の言葉です。書きたい場面を文章にしてみて、五音や七音の言葉を見つけてみましょう。その前か後に「盆の月」をおいてみると、俳句をつくることができます。８月にはほかにもいろいろな季語がありますよ。調べてみましょう。